

I 令和 6 年(2024 年)度 事業報告

1. 事業活動の概要

本財団は、優秀な人材の育成を図り、学問の研究等を奨励し、社会の発展と福祉に寄与することを目的として、全国の証券会社等関係機関からのご寄附により、1973 年（昭和 48）7 月 1 日に文部大臣の許可を受けて設立され、2011 年 9 月 16 日より公益財団法人に移行し、現在に至っています。

（1）奨学事業

将来社会の各分野において指導的役割を担う人材を育成するとの趣旨により、大学生・大学院生への奨学事業を行っており、設立以来の奨学生修了者は、2025 年 3 月末日現在 3,895 名になっています。

今年度は、新規に 63 名を採用し、学年進行者 106 名と合わせて 169 名に対し、通常の奨学金 99,015 千円を給与しました。このほかに、前回の支援以降も食料価格の高騰をはじめ、物価高騰の状況が続いていることから、緊急奨学生支援として、総額 8,300 千円を給与しました。

また、7 月に奨学金授与式、10 月に奨学生懇談会、3 月には奨学生修了式を開催しました。

その他、コロナ禍により休止していた大学毎の集いを 5 年振りに再開しました。

（2）研究調査助成事業

高い水準の研究調査を盛んにするとの趣旨により、社会科学の各分野の研究調査を対象に助成事業を行っています。

今年度は、研究調査助成は 8 件に対し 7,730 千円を、研究出版助成は 6 件に対し 6,000 千円をそれぞれ給付しました。また、11 月には研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式を開催しました。

（3）証券奨学同友会支援事業

本事業は、奨学生修了者で組織する証券奨学同友会（以下「同友会」という）が行う活動を支援するものです。

今年度は、5 月に関西地区で、6 月に関東地区で総会と懇親会がそれぞれ開催され、多数の参加者があり盛況のうち終了しました。

また、11 月に同友会関東地区幹事の編集により発刊された同友会報第 50 号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

2. 事業活動の状況

(1) 奨学事業

新規採用者 63 名及び学年進行者 106 名の合計 169 名に対し、通常の奨学金 99,015 千円を給与しました。このほか、前回の支援以降も食料価格の高騰をはじめ、物価高騰の状況が続いていることから、緊急奨学生支援を支給対象 166 名に対し、一律 50 千円、総額 8,300 千円を給与しました。その状況は表 1～表 5 のとおりです。

① 奨学生の新規採用状況

新規採用については、指定大学 30 校に対し 4 月 1 日から 4 月 22 日まで募集を行ったところ、29 大学から 82 名の候補者の推薦がありました。候補者に対して、5 月 8 日から 5 月 29 日の間、奨学生選考委員による面接を東京及び大阪の会場で実施し、委員の評価を行いました。その後、6 月 7 日の奨学生選考委員会による選考の結果を受け、同日に開催された書面理事会で 6 月 13 日に本年度の新規採用者 63 名を機関決定しました。

(表 1) 令和 6 年(2024 年)度の奨学生数及び奨学金給与額

(単位：名、千円)

区 分	博士課程	修士課程	学部	計
学年進行者	3	25	78	106
新規採用者	1	33	29	63
計	4	58	107	169
奨学金給与額	1,860	35,340	61,815	99,015
緊急奨学金給与額	150	2,900	5,250	8,300
計	2,010	38,240	67,065	107,315

(注 1) 給与月額は、45,000 円（自宅外者は 55,000 円）です。博士課程は 3 年間、修士課程は 2 年間、学部は 2 年次から 3 年間を給与期間としています。

(注 2) 休学等により給与を休止等している者を含む。

(表2) 令和6年(2024年)度奨学生数(大学別)

(単位: 名)

学 種 大 学	新規採用者				学年進行者				2024年度奨学生合計			
	大学院学生		大学生	計	大学院学生		大学生	計	大学院学生		大学生	計
	博士	修士			博士	修士			博士	修士		
北海道大学		1	1	2		2	2	4		3	3	6
東北大学		1	2	3			4	4		1	6	7
新潟大学		1	2	3		2	3	5		3	5	8
筑波大学		2	1	3	1	1	3	5	1	3	4	8
お茶の水女子大学		2		2						2		2
東京大学		1	1	2		2	2	4		3	3	6
東京科学大学		2	1	3			2	2		2	3	5
一橋大学		1		1	1		1	2	1	1	1	3
東京都立大学		1	1	2		1	1	2		2	2	4
慶應義塾大学			2	2		1	2	3		1	4	5
上智大学		2	1	3			4	4		2	5	7
中央大学			1	1			6	6			7	7
日本大学						1	3	4		1	3	4
法政大学		1	1	2		1	4	5		2	5	7
明治大学		1		1		1	4	5		2	4	6
立教大学			3	3			7	7			10	10
早稲田大学		2	1	3		2	2	4		4	3	7
横浜国立大学						1		1		1		1
名古屋大学		2	1	3	1	1	2	4	1	3	3	7
名古屋市立大学			1	1			3	3			4	4
京都大学						2	2	4		2	2	4
同志社大学			2	2			4	4			6	6
立命館大学		1	1	2		1	3	4		2	4	6
大阪大学		2		2			3(1)	3(1)		2	3	5
大阪公立大学 (大阪市立大学)		2	1	3		1	1	2		3	2	5
関西大学		1	2	3			4	4		1	6	7
神戸大学		2	1	3		2	1	3		4	2	6
関西学院大学	1	1		2		1	1	2	1	2	1	4
広島大学		2	1	3		1	2	3		3	3	6
九州大学		2	1	3		1	2	3		3	3	6
計(30大学)	1	33	29	63	3	25	78(1)	106(1)	4	58	107(1)	169(1)

(注) 括弧内は、留学生数(内数)

(表 3) 累計の採用奨学生数 (大学別)

(単位：名)

大 学 名	大 学 院 生		大 学 生	計
	博 士	修 士		
北 海 道 大 学	34	47	107	188
東 北 大 学	25	37	116	178
新 潟 大 学	6	36	111	153
筑 波 大 学	4	11	8	23
お 茶 の 水 女 子 大 学	0	8	9	17
東 京 大 学	28	41	112	181
東 京 工 業 大 学	31	41	101	173
一 橋 大 学	34	37	98	169
東 京 都 立 大 学 (首 都 大 学 東 京)	30	38	109	177
慶 應 義 塾 大 学	31	39	118	188
上 智 大 学	30	38	118	186
中 央 大 学	3	23	95	121
日 本 大 学	1	6	15	22
法 政 大 学	0	21	83	104
明 治 大 学	0	30	83	113
立 教 大 学	3	21	94	118
早 稲 田 大 学	32	43	107	182
横 浜 国 立 大 学	3	8	9	20
名 古 屋 大 学	33	28	109	170
名 古 屋 市 立 大 学	0	1	45	46
京 都 大 学	28	53	106	187
同 志 社 大 学	0	19	88	107
立 命 館 大 学	0	26	73	99
大 阪 大 学	25	41	96	162
大 阪 公 立 大 学 (大 阪 市 立 大 学)	32	43	102	177
関 西 大 学	0	10	83	93
神 戸 大 学	33	40	97	170
関 西 学 院 大 学	26	36	110	172
広 島 大 学	34	41	101	176
九 州 大 学	27	42	100	169
計	533	905	2,603	4,041

(注) 旧留学生制度による留学生を除く。

② 奨学生修了状況

今年度は、奨学生 66 名（博士課程 2 名、修士課程 24 名、学部 40 名。早期卒業等に伴う修了者を含む。）が修了しました。その状況は、表 4 及び表 5 のとおりです。

（表 4）令和 6 年(2024 年)度奨学生修了者の就職・進学状況

（単位：名）

区 分		大学院生		大学生	合計	備 考
		博士課程	修士課程			
(1)就 職			18	22	40	
内 訳	一般企業 そ の 他		15	21	36	{ 株式会社 31 名 その他 5 名
	大 学 等 研究機関					
	公 務 員		3	1	4	
(2)進 学			3	11	14	{ 同大学大学院 9 名 他大学大学院 5 名
(3)在 学		2		4	6	修了 6 名
(4)そ の 他			3	3	6	{ 進路未定 5 名 受験 1 名
計		2	24	40	66	

(表 5) 年度別の奨学生修了者数

(単位：名)

学 種 修了年度	大学院生		大学生	合 計
	博士課程	修士課程		
1976～2019	494	760	2,339	3,593
2020	5	21	45	71
2021	9	8	28	45
2022	4	27	32	63
2023	4	22	31	57
2024	2	24	40	66
計	518	862	2,515	3,895

(注) 辞退者を含み、2013 年度までの留学生（旧留学生制度）を除く。

③ 奨学金授与式

2024 年度（第 51 回）奨学金授与式は、7 月 11 日（木）午後 3 時より「如水会館」（千代田区一ツ橋）において、今年度採用の奨学生、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢 112 名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会委員の向山敦夫先生（大阪公立大学大学院教授）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 式次第

開式	一、 挨拶	理 事 長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	奨学生選考委員長	藤 原 誠
	一、	奨学生証書授与	
	一、 祝 辞	立教大学 副総長	浜 崎 桂 子
	一、 謝 辞	奨学生代表 関西学院大学大学院 博士課程	服 部 茜
閉式			(敬称略)

④ 奨学生修了式

2024 年度（第 50 回）奨学生修了式は、3 月 6 日（木）午後 3 時より「如水会館」（千代田区一ツ橋）において、今年度修了の奨学生、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢 92 名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会委員の伊達悦朗先生（大阪大学名誉教授）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 式次第

開式	一、 挨拶	理事長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	奨学生選考委員長	藤 原 誠
	一、	奨学生修了証書及び記念品授与	
	一、 祝 辞	明治大学 副学長	石 津 寿 恵
	一、 祝 辞	証券奨学同友会 代表幹事	高 田 とし子
	一、 謝 辞	奨学生代表 筑波大学大学院博士課程	梁 安 吉 子
閉式			(敬称略)

⑤ 奨学生推薦大学連絡会

推薦大学の担当者と財団事務局との間で奨学生の支援に関し連携を図るため、2 月に奨学生推薦大学連絡会をオンラインで開催しました。

「新年度奨学生募集について」を議題に財団事務局より説明を行うとともに質疑応答の時間を設け情報交換を行いました。

⑥ 奨学生指導関係

民間の財団なるが故に可能とされる「心の通った奨学制度」を目指したいとの思いから、奨学生が所属大学あるいは学部の垣根を越えて互いに交流し合える場として、「奨学生懇談会」を開催しています。

本年度は、10月5日（土）午後12時より学士会館（千代田区神田錦町）において2024年度奨学生懇談会を開催しました。

式典では、主催者を代表して新芝宏之理事長から挨拶を、次いで本財団の奨学生選考委員会副委員長である小林康夫先生（東京大学名誉教授）による講演「〈人である〉ことを学び続ける――crossover moment について――」が行われました。その後、懇親パーティー会場にて懇親会を開催し、評議員の清水啓典様（一橋大学名誉教授）から挨拶・乾杯の发声をいただき歓談が行われました。

なお、当日は、奨学生 146 名、同友会会員 55 名、大学関係者 17 名、財団役員等関係者 16 名の総勢 234 名の皆様にご参加をいただき盛況の中で終了しました。

○ 式次第

開式
一、 挨拶 理 事 長 新 芝 宏 之
一、 講 演
「〈人である〉ことを学び続ける——crossover moment について——」
東京大学 名誉教授 小 林 康 夫
(奨学生選考委員会 副委員長)
閉式
(敬称略)

⑦ 証券奨学生の集い

コロナ禍により休止していた大学毎の集いを早稲田大学、東京大学、立命館大学、神戸大学、名古屋大学、関西大学、九州大学及び法政大学の8大学周辺にて開催し、現役奨学生、修了者や大学関係者が一同に会し、懇親を深めました。

(2) 研究調査助成事業

① 研究調査助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月30日まで募集を行い、申請件数25件、申請総額23,760千円の応募がありました。

9月27日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、同日に開催された書面理事会で助成件数8件、助成金総額7,730千円を機関決定し、給付しました。

研究調査助成金の申請状況及び受給者は、表6及び表7のとおりです。

(表6) 研究調査助成金の申請状況

イ. 個人・グループ別

(単位：件)

年度	個人	グループ	計
2020	10	4	14
2021	10	10	20
2022	10	7	17
2023	14	4	18
2024	13	12	25

ロ. 研究期間

(単位：件)

年度	1年以内	1年超 1.5年以内	1.5年超 2年以内	2年超	計
2020	11	1	2	0	14
2021	16	2	0	2	20
2022	12	1	3	1	17
2023	14	3	1	0	18
2024	22	1	2	0	25

(表7) 2024年度研究調査助成金受給者の一覧

研究代表者	研究調査課題	研究形態	金額 (万円)
神戸大学大学院 経済学研究科 教授	カジタニ カイ 梶 谷 懐	経済のデジタル化とグローバル・バリューチェーンの再編に関する中印比較研究	グループ 100
慶應義塾大学 経済学部 教授	カメイ ケンジュ 亀 井 憲 樹	経済主体間の負の互恵性の連鎖とコミットメント装置の機能: 経済実験による考察	グループ 100
関西大学 経済学部 教授	キシ ケイイチ 岸 慶 一	資産価格バブルの必然性	グループ 85

大 阪 経 済 大 学 学 部 教 授 大 経 営 学 教	サトウ メグム 佐 藤 愛	委託された資産運用下での 社会的責任投資	グループ	1 0 0
順 天 堂 大 学 学 部 教 助 ス ポー ツ 健 康 科 学 部 教	シモクボ タクヤ 下 窪 拓 也	オンライン動画による運動・スポーツのプロモーションが運動習慣の格差に及ぼす影響に関する実証的研究	個人	1 0 0
立 命 館 大 学 学 部 教 授 産 業 社 会 学 教	トミナガ キョウコ 富 永 京 子	メンタル不調による企業辞職者を包摂する雇用・労働システムの研究——地域密着型自営業者を事例として	グループ	8 8
関 西 学 院 大 学 学 部 教 授 商 学 教	ハママラ ジュンペイ 濱 村 純 平	エビデンスに基づく「原価計算基準」研究	グループ	1 0 0
亜 細 亜 大 学 学 部 教 授 都 市 創 造 学 教	リ リツエイ 李 立 栄	ビッグテック企業の金融機関化一米中の比較を通じて—	個人	1 0 0
—		8 件	7 7 3 万円	

② 研究出版助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月30日まで募集を行い、申請件数31件、申請総額30,190千円の応募がありました。

9月27日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、同日に開催された書面理事会で助成件数8件、助成金総額8,000千円を機関決定しました。その後、2件の辞退があったことから最終的に、助成件数6件、助成金総額6,000千円を給付しました。

研究出版助成金の申請状況及び受給者は、表8、表9のとおりです。

(表8) 研究出版助成金の申請状況

イ. 著作形態

(単位：件)

年度	単著	共著	計
2020	16	0	16
2021	21	1	22
2022	23	2	25
2023	26	2	28
2024	29	2	31

ロ. 印刷部数

(単位：部)

年度	100 部未満	100 部以上 500 部未満	500 部以上 1,000 部未満	1,000 部以上	計
2020	0	1	9	6	16
2021	0	3	15	4	22
2022	0	2	20	3	25
2023	0	3	25	0	28
2024	0	7	18	6	31

(表 9) 2024 年度研究出版助成金受給者の一覧

出版代表者（著者）		研究出版物タイトル	出版形態	金額 (万円)
京 都 大 学 大 学 院 部 授 管 理 研 究	アダチ タカノリ 安 達 貴 教	不完全競争の経済学に向けて ー市場支配力指数アプローチ	単著	100
甲 南 大 学 学 部 授 経 済 大 学	アダチ ヨシミ 足 立 泰 美	地方公営企業の経済学	単著	100
大 阪 大 学 大 学 院 学 科 授 人 間 科 学 教	イガラシ アキラ 五 十 嵐 彰	可視化される差別：統計分析 が明かす移民・エスニックマ イノリティに対する差別と排 外主義の構造	単著	100
茨 城 大 学 学 部 人 文 社 会 科 学 部 講 師 (テニユア・トラック)	カケガイ ユウタ 掛 貝 祐 太	財政民主主義の地平ースイ スの自治・多様性・直接民主 主義	単著	100
東 京 大 学 大 学 院 科 教 総 合 文 化 研 究	バンジョウ ケンジ 番 定 賢 治	戦間期日本外交と国際機構	単著	100
東 北 文 化 学 園 大 学 学 部 師 現 代 社 会 学	ヤマザキ マホ 山 崎 真 帆	復興の〈周縁〉でー境界的な 被災地における東日本大震災 のエスノグラフィ	単著	100
		6 件		600 万円

(注) 本表は辞退者を除いている。

③ 研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式

2024 年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式は、11 月 11 日（月）午後 3 時より「東京証券会館」（中央区日本橋茅場町）において開催しました。研究調査助成金受給者、研究出版助成金受給者、役員、評議員、研究調査助成選定委員、奨学生選考委員にご出席いただき、総勢 26 名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、研究調査助成選定委員の野村容康様（獨協大学教授）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 次 第

開式	一、 挨拶	理 事 長	新 芝 宏 之
	一、 挨拶	研究調査助成選定委員会 委員長	北 川 哲 雄
	一、 助成金給付書贈呈		
	一、 研究調査助成金 受給者代表	大阪経済大学 経営学部教授	佐 藤 愛
	一、 研究出版助成金 受給者代表	東京大学大学院 総合文化研究科助教	番 定 賢 治
閉式			(敬称略)

(3) 証券奨学同友会支援事業

同友会は、本財団の奨学生修了者が奨学生時代に培った相互の信頼関係を維持し、一層深めるため、また会員相互の親睦と協調を図るとともに、本財団の発展に寄与することを目的として 1977 年 3 月 18 日に設立され、2025 年 3 月末日現在約 4,100 名の会員を有している組織です。

当事業は、この同友会が行う活動を支援するものです。

① 同友会定期総会

今年度は、コロナ禍により休止していた総会と懇親会が 5 月に関西地区、6 月に関東地区でそれぞれ 5 年振りに開催され、多数の参加者があり盛況のうち終了しました。

② 同友会報の編集・発行

例年、会員の活動状況、近況報告等を掲載した「証券奨学同友会報」を発行しています。11 月に同友会関東地区幹事の編集により発刊された同友会報第 50 号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

3. 総務事項

(1) 本財団へのご寄附

今年度は、表 10 のとおり、個人 6 名、法人 2 件の合計 8 件、5,210,000 円のご寄附がありました。

(表 10) 2024 年度の寄附者ご芳名

寄附年月日	御 芳 名	区分	金額(円)	趣 旨
2024.5.17	藤崎宏子 殿	個人	100,000	貴財団の今後の奨学事業発展のため
2024.5.29	匿名	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2024.6.26	山崎 貴博 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2024.6.27	森本 学 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念して財団の事業支援のため
2024.7.1	匿名	個人	960,000	元奨学生として支援の感謝と、未来の奨学生への支援の為
2024.9.24	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2024.11.7	稲野 和利 殿	個人	1,000,000	叙勲を記念し財団の奨学事業支援のため
2025.3.27	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して

(2) 理事会、監査会、評議員会、委員会等の開催状況

今年度は、以下の諸会議を開催して所管事項について審議決定しました。

① 理事会

開催日	議 題
2024 年 5 月 20 日	(審議事項) 1. 2023 年度事業報告及び収支決算について 2. 研究調査助成選定委員会委員の選任について 3. 評議員会の招集について (報告事項) 4. 理事の任期満了に伴う理事の選任等について 5. 資産運用委員会委員長を選任について 6. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 7. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

開催日	議 題
2024 年 6 月 7 日 (書面)	(審議事項) ・ 2024 年度採用奨学生の決定について 以上、原案どおり承認された。
2024 年 6 月 19 日 (書面)	(審議事項) 1. 理事長の選定について 2. 常務理事の選定について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2024 年 9 月 27 日 (書面)	(審議事項) 1. 2024 年度研究調査助成金受給者の決定について 2. 2024 年度研究出版助成金受給者の決定について 以上、いずれも原案どおり承認された。
2024 年 12 月 10 日 (書面)	(審議事項) ・ 第 4 回緊急奨学生支援について (食料価格・物価高騰対応) 以上、原案どおり承認された。
2025 年 1 月 15 日 (書面)	(審議事項) ・ 2025 年度奨学生の募集について 以上、原案どおり承認された。
2025 年 2 月 25 日	(審議事項) 1. 2025 年度資産運用計画について 2. 2025 年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みについて 3. 特定費用準備資金等取扱規程の制定について 4. 2025 年度研究調査助成募集要項及び 2025 年度研究出版助成募集要項について 5. 資産運用委員会委員の任期満了に伴う選任について 6. 参与の選任について 7. 評議員会の招集について

開催日	議 題
	(報告事項) 8. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 9. 2024年度奨学生修了者の就職・進学状況について 10. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

② 監査会

開催日	議 題
2024年5月7日	(審議事項) 1. 2023年度の事業及び財務の状況について 2. 2023年度事業報告書及び収支決算書について（監査実施） 3. 監査報告書の承認について 以上、監査した結果、2023年度事業報告書及び収支決算書は、適法かつ正確であると承認された。

③ 評議員会

開催日	議 題
2024年6月19日	(審議事項) 1. 2023年度収支決算について 2. 理事の任期満了に伴う理事の選任等について (報告事項) 3. 2023年度事業報告について 4. 各委員会の委員長の選任等について 5. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2025年3月14日	(審議事項) 1. 2025年度理事長等の報酬年額について 2. 2025年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見

開催日	議 題
	込みについて (報告事項) 3. 2025年度資産運用計画について 4. 特定費用準備資金等取扱規程の制定について 5. 第4回緊急奨学生支援について(食料価格・物価高騰対応) 6. 2025年度奨学生募集要項について 7. 2025年度研究調査助成募集要項及び2025年度研究出版助成募集要項について 8. 資産運用委員会委員の任期満了に伴う選任について 9. 参与の選任について 10. 2024年度奨学生修了者の就職・進学状況について 11. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

④ 委員会

1) 奨学生選考委員会

開催日	議 題
2024年4月4日 (書面)	(審議事項) ・奨学生選考委員会委員長及び副委員長の互選について 以上、原案どおり承認された。
2024年6月7日	(審議事項) ・2024年度奨学生の選考について 以上、原案どおり承認された。
2024年12月9日 (書面)	(審議事項) ・2025年度奨学生の募集について 以上、原案どおり承認された。

2) 研究調査助成選定委員会

開催日	議 題
2024 年 4 月 4 日 (書面)	(審議事項) ・ 研究調査助成選定委員会委員長及び副委員長の互選について 以上、原案どおり承認された。
2024 年 9 月 27 日	(審議事項) 1. 2024 年度研究調査助成金受給者の選定について 2. 2024 年度研究出版助成金受給者の選定について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2025 年 1 月 10 日 (書面)	(審議事項) 1. 2025 年度研究調査助成の募集について 2. 2025 年度研究出版助成の募集について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

3) 資産運用委員会

開催日	議 題
2024 年 4 月 22 日 (書面)	(審議事項) ・ 資産運用委員会委員長の互選について 以上、原案どおり承認された。
2024 年 10 月 29 日	(審議事項) 1. 2024 年度資産運用状況について 2. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2025 年 2 月 6 日	(審議事項) 1. 2024 年度資産運用状況について 2. 2025 年度資産運用計画(案)について

開催日	議 題
	3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

(3) 役員、評議員、委員の異動状況

今期は、以下の役員、委員の異動がありました。

① 役員

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2024 年 6 月 19 日 (理事会)	(再 任) 理事長 新 芝 宏 之 (株式会社岡三証券グループ取締役社長) 常務理事 松 永 秀 昭 理 事 稲 野 和 利 (株式会社しずおかフィナンシャルグループ 取締役) 理 事 神 作 裕 之 (学習院大学 教授) 理 事 北 川 哲 雄 (青山学院大学 名誉教授・東京都立大学 特任教授) 理 事 佐 賀 卓 雄 (日本証券経済研究所 名誉研究員) 理 事 岳 野 万里夫 (日本証券業協会 副会長) 理 事 藤 田 誠 一 (神戸大学 名誉教授)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	理 事 藤 原 誠 (東京国立博物館 館長) (就 任) 理 事 日比野 隆 司 (株式会社大和証券グループ本社 特別顧問 兼 大和証券株式会社 特別顧問) (退 任) 理 事 武 樋 政 司 (いちよし証券株式会社 取締役会長)

② 奨学生選考委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2024 年 4 月 1 日 (理事会)	(再 任) 委員長 藤 原 誠 (東京国立博物館 館長) 副委員長 小 林 康 夫 (東京大学 名誉教授) (辞任：2025 年 3 月 31 日) 委 員 伊 達 悦 朗 (大阪大学 名誉教授) 委 員 廣 瀬 克 哉 (法政大学 総長) 委 員 廣 田 元 孝 (広田証券株式会社 取締役会長)

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
	委 員 藤 田 誠 一 (神戸大学 名誉教授) 委 員 宮 島 司 (慶應義塾大学 名誉教授・朝日大学 教授) (辞任：2025 年 3 月 31 日) 委 員 向 山 敦 夫 (大阪公立大学大学院 教授) 委 員 山 口 隆 弘 (山和証券株式会社 取締役社長) (就 任) 委 員 木 下 千 花 (京都大学大学院 教授) 委 員 鈴 木 千佳子 (慶應義塾大学 教授) 委 員 津 田 敦 (東京大学大気海洋研究所 特任教授) 委 員 豊 田 岐 聡 (大阪大学 副学長・教授) 委 員 中 尾 まさみ (東京大学 特任教授) 委 員 藤 井 真理子 (東京大学 名誉教授)

③ 研究調査助成選定委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2024 年 4 月 1 日 (理事会)	(再 任) 委員長 北 川 哲 雄 (青山学院大学 名誉教授・東京都立大学 特任教授) 副委員長 松 田 千恵子 (東京都立大学大学院 教授) 委 員 柿 崎 環 (明治大学 教授) 委 員 田 淵 六 郎 (上智大学 教授) 委 員 中 野 勉 (青山学院大学大学院 教授) 委 員 鍋 島 直 樹 (名古屋大学大学院 教授) 委 員 野 村 容 康 (獨協大学 教授)
2024 年 5 月 20 日 (理事会)	(就 任) 委 員 家 森 信 善 (神戸大学 教授)

④ 資産運用委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2024 年 4 月 1 日 (理事会)	(就 任) 委 員 高 橋 典 孝 (三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 金融市場トレーディング部長) 委 員 岡 部 大 平 (みずほ証券 執行役員) 委 員 浅 村 憲 郎 (SMBC 日興証券 理事) 委 員 岩 崎 正 裕 (大和証券 執行役員)
2024 年 4 月 1 日 (委員会)	(就 任) 委員長 平 岡 徹 也 (野村證券株式会社 常務執行役員)

（４）資産運用への取組み

○ 資産運用の基本方針

定款及び資産運用管理規程に則り、資産価値の維持を図ることを旨とし、事業目的の遂行に資するため、最善と考えられる方法により、安定性、継続性及び収益性に配慮した資産運用を行います。

（ i ） 資産運用状況

2024 年度の各資産クラスにおける収益は国内債券 90.6 百万円、国内株式 35.1 百万円、国内 REIT35.5 百万円、外国債券 140.5 百万円になり、合計で 301.7 百万円、前年度比 121%の増益になりました。

なお、資産運用計画（中期計画及び 2024 年度計画）の基本ポートフォリオにおける各資産クラスの割合の大きな増減がなかったため、基本財産および事業安定積立資産の売却・買付けは行いませんでした。

（ ii ） 次年度の資産運用計画

2025 年度は、2022 年度に作成した中期資産運用計画に基づき、基本ポートフォリオにおける各資産クラスの配分を注視し、必要に応じて安定性、継続性及び収益性に配慮しつつ資産の一部入替や再配分（リバランス）を行います。

（ iii ） 特定費用準備資金等

2024 年度は特定費用準備資金等取扱規程を制定しました。

奨学金引上げおよび新たな奨学支援制度のための事業拡大費用として奨学金積立を、また研究調査・研究出版助成金増額のための事業拡大費用として助成金積立をそれぞれ特定費用準備資金として行いました。

事業報告の附属明細書

公益財団法人 日本証券奨学財団

※ 記載すべき事項はありません。

Ⅱ 財務諸表等

1. 財務状況の概要

(1) 資産の状況

「貸借対照表」(2025 年 3 月 31 日現在)において、資産総額は、8,519,205 千円となり、また負債総額は、13,317 千円となりました。資産総額から負債総額を差し引いた正味財産総額は、8,505,888 千円となりました。

なお、特定費用準備資金として奨学生積立資産 70,000 千円、助成金積立資産 12,000 千円を積み立てました。

(2) 正味財産の増減状況

- ① 一般正味財産期末残高は一般正味財産期首残高に一般正味財産増減額 98,041 千円を減算した結果、6,307,814 千円となりました。
- ② 指定正味財産期末残高は、指定正味財産期首残高に当期指定正味財産増減額 52,932 千円を減算した結果 2,198,074 千円となりました。
- ③ 以上により、期末(2025 年 3 月 31 日現在)の正味財産期末残高は、8,505,888 千円となりました。

(3) 表示方法の変更

当年度より正味財産増減計算書の「研究調査助成事業費」と「研究出版助成事業費」を合算して「研究調査・出版助成事業費」として表示しています。

Ⅲ 資料編

○ 役員・評議員・委員等名簿

令和7年（2025年）3月31日現在（50音順・敬称略）

役 員

理 事 長	新 芝 宏 之	株式会社岡三証券グループ取締役社長
常 務 理 事	松 永 秀 昭	
理 事	稲 野 和 利	株式会社しずおかフィナンシャルグループ 取締役
	神 作 裕 之	学習院大学教授
	北 川 哲 雄	青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授
	佐 賀 卓 雄	日本証券経済研究所名誉研究員
	岳 野 万里夫	日本証券業協会副会長
	日比野 隆 司	株式会社大和証券グループ本社特別顧問 兼大和証券株式会社特別顧問
	藤 田 誠 一	神戸大学名誉教授
	藤 原 誠	東京国立博物館館長
監 事	石 井 登	立花証券株式会社取締役会長
	梅 原 知 彦	共和証券株式会社取締役社長
	菅 原 和 信	菅原和信公認会計士事務所公認会計士

評 議 員

評議員会議長	内 藤 誠二郎	内藤証券株式会社取締役会長
評 議 員	宇 野 勝 博	大阪大学名誉教授
	岡 地 敏 則	岡地証券株式会社取締役会長
	近 藤 勝 義	株式会社QUICK特別顧問
	清 水 啓 典	一橋大学名誉教授
	武 川 正 吾	東京大学名誉教授
	中 島 隆 博	東京大学教授
	森 田 敏 夫	日本証券業協会会長

委 員

奨学生選考委員会

委 員 長	藤 原 誠	東京国立博物館館長
副 委 員 長	小 林 康 夫	東京大学名誉教授
委 員	木 下 千 花	京都大学大学院教授
	鈴 木 千佳子	慶應義塾大学教授
	伊 達 悦 朗	大阪大学名誉教授
	津 田 敦	東京大学大気海洋研究所特任教授
	豊 田 岐 聡	大阪大学副学長・教授
	中 尾 まさみ	東京大学特任教授
	廣 瀬 克 哉	法政大学総長
	廣 田 元 孝	広田証券株式会社取締役会長
	藤 井 真理子	東京大学名誉教授
	藤 田 誠 一	神戸大学名誉教授
	宮 島 司	慶應義塾大学名誉教授・朝日大学教授
	向 山 敦 夫	大阪公立大学大学院教授
	山 口 隆 弘	山和証券株式会社取締役社長

研究調査助成選定委員会

委 員 長	北 川 哲 雄	青山学院大学名誉教授・東京都立大学特任教授
副 委 員 長	松 田 千恵子	東京都立大学大学院教授
委 員	柿 崎 環	明治大学教授
	田 渕 六 郎	上智大学教授
	中 野 勉	青山学院大学大学院教授
	鍋 島 直 樹	名古屋大学大学院教授
	野 村 容 康	獨協大学教授
	家 森 信 善	神戸大学教授

資産運用委員会

委 員 長	平 岡 徹 也	野村證券株式会社常務執行役員
委 員	浅 村 憲 郎	SMBC 日興証券株式会社理事
	岩 崎 正 裕	大和証券株式会社執行役員
	岡 部 大 平	みずほ証券株式会社執行役員
	加 藤 康 之	京都先端科学大学教授

顧 問	高 橋 典 孝	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 金融市場トレーディング部長
	佐々木 正 峰	国立科学博物館顧問
参 与		
	山 下 友 信	東京大学名誉教授
	庄 司 興 吉	東京大学名誉教授
	藍 澤 基 彌	アイザワ証券株式会社相談役
	須 藤 時 仁	獨協大学元教授
	渡 部 亮	法政大学名誉教授
	入 木 雅 和	前常務理事